



2020年10月30日

各位

会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ  
代表者名 代表取締役社長 渡邊 壽信  
コード番号 7173 東証第一部  
問合せ先 経営企画部長 安田 信幸  
(TEL 03-6447-5799)

## 株式会社きらぼしデジタルバンク設立準備会社の設立について ～「対話を軸にした“金融にも強い総合サービス業”」の新たなステージへ～

当社は、株式会社きらぼしデジタルバンク設立準備会社（代表取締役 田中 俊和、以下「準備会社」といいます。）を本日付で設立しましたので、下記のとおりお知らせいたします。準備会社では、関係当局の許認可等を前提に、2021年度中のデジタルバンク開業に向けて準備を進めてまいります。

### 記

#### 1. 準備会社の概要

会社名 株式会社きらぼしデジタルバンク設立準備会社  
本店所在地 東京都港区南青山3-10-43  
代表者氏名 田中 俊和（きらぼし銀行取締役執行役員）  
資本金 4億5千万円  
出資比率 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ 100%

#### 2. 背景・目的

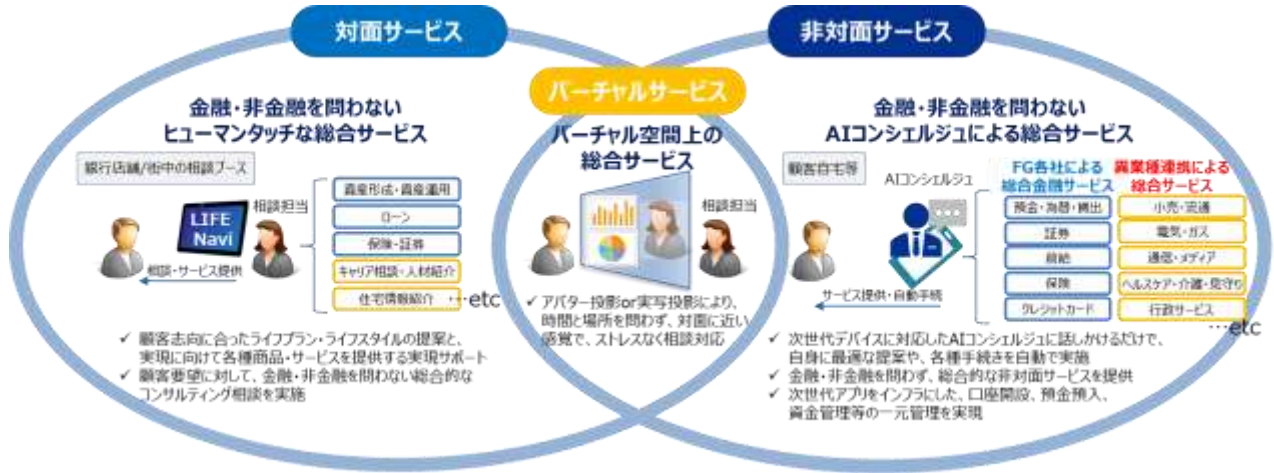
近年、生活面・ビジネス面であらゆるモノ・コトのデジタルライゼーションが加速し、お客さまの価値観やニーズ、コミュニケーション手段は多様化しております。また、新型コロナウイルス感染症の影響によるデジタル化・オンライン化を前提にした新しい生活様式への転換も相まって、金融機関はより一層お客さま一人ひとりに合った情報・商品・サービスを、最適な手段・タイミングで提供することが求められています。

このような環境において、東京圏を地盤とする地域金融機関である当社は、新たにデジタルバンクを設立することといたしました。グループ各社や行政を含む多様な外部機関と連携することで、地域のデジタル化に貢献し、**お客さまニーズを第一義とした金融・非金融を問わないシームレスな総合サービスをスマートフォンアプリ 1 つで柔軟にご提供いたします。**

また、当社子会社の株式会社きらぼし銀行（代表取締役 渡邊 壽信、以下「きらぼし銀行」といいます。）と連携し、お客さま一人ひとりにきめ細やかに対応する、対面コンサルティングサービスをデジタル面からサポートし、対面・非対面の高度なハイブリッド化による「対話を軸にした“金融にも強い総合サービス業”」の更なる進化を目指してまいります。

デジタルバンクの設立を機に、当社は企業文化、組織、職員の意識改革を含めたデジタルトランスフォーメーション（DX）を加速させ、「新たな金融サービス・価値の創造」、「徹底的な効率化・高度化」「外部機関とのシームレスな連携」を実現してまいります。DXの推進により、グループ全体の店舗戦略、店頭業務を含むリテール戦略等のビジネスモデルを再構築いたします。

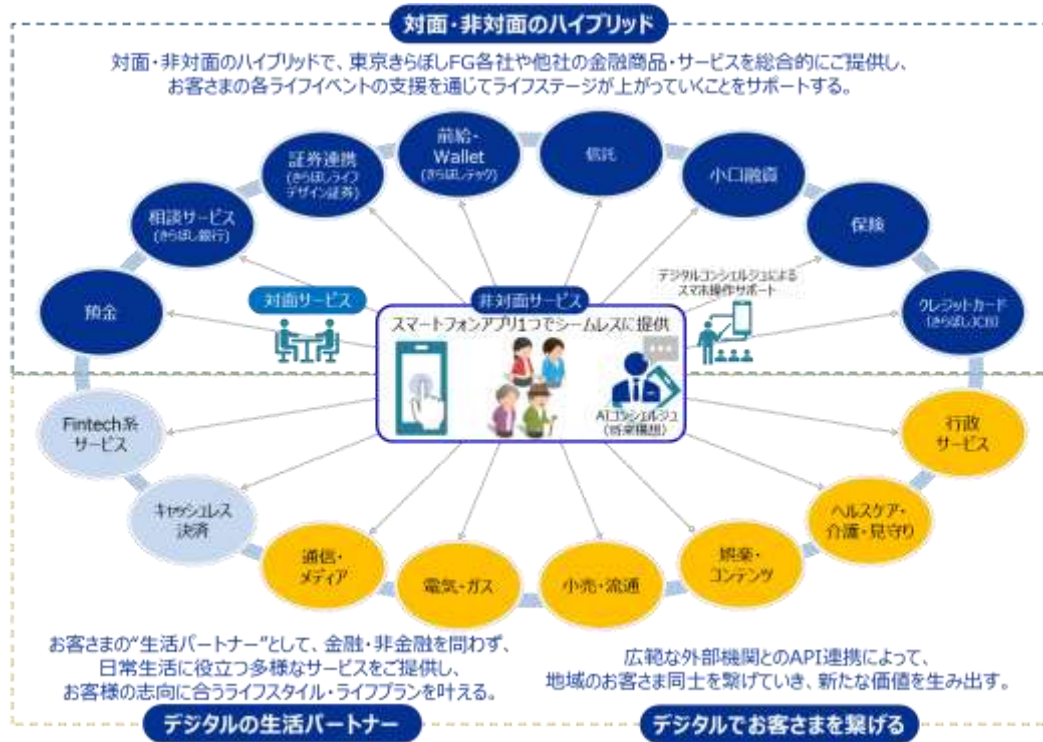
＜対面・非対面の高度なハイブリッドモデルの将来イメージ＞



3. お客さまとの共通価値の創造

デジタルバンク開設当初は、デジタルバンクの非対面サービスと、きらぼし銀行の対面サービスの一体化により、シームレスなお客さま対応と総合サービス提供を実現し、高金利の預金の提供、資金管理や日々の決済を便利にするサービスや、資産形成・資産運用サービスを充実させることからスタートします。順次、お客さまの生活パートナーとして、デジタルを活用した新たな資金調達手段や、金融・非金融を問わず日常生活に役立つ多様な提携サービスの提供にも取り組み、お客さまの日常や思いに寄り添い、ひとつひとつの夢や希望を輝かせ、多様なライフスタイル・ライフプランを叶えるサポートを実現してまいります。また、行政や民間企業と連携するHUBとしての役割を果たし、地域内のお客さま同士を繋げ、新たな価値の創出及び地域の発展に寄与します。

＜デジタルバンクの事業コンセプト及び提供商品・サービス全体像（案）＞



#### 4. デジタルバンクで採用するクラウドバンキングシステムについて

デジタルバンクでは、日本国内で10年間稼働実績のある株式会社 SBJ DNX のオープン系バンキングシステムを採用し、アジャイルによる開発手法を取り入れることで、極めて短期間、低コストでの導入を実現しております。また、ハイブリッドクラウド方式のサーバー運用を採用し、従来と比較し運用の効率化・コストの抑制を図ります。積極的な API (※) 開放等により、デジタルトランスフォーメーションに適した柔軟なバンキングシステムの構築を目指します。更に、将来的なグループ全体の基幹系システムの最適化も見据え、今後検討を進めてまいります。

株式会社 SBJ DNX は、韓国大手銀行である新韓銀行の日本法人 株式会社 SBJ 銀行（代表取締役社長 富屋 誠一郎）のシステム子会社です。国連が2020年7月に発表した「世界電子政府ランキング」において韓国は世界2位となっており、社会全体が高度にデジタル化されています。そのような環境において、新韓銀行はデジタル技術を最大限活用した戦略と総合金融グループとしてのサービス展開等により、海外20カ国に157拠点を有する等グローバルで事業を展開し、持続的成長を実現しています。

※API (Application Programming Interface) とは、あるコンピュータプログラム (ソフトウェア) の機能や管理するデータなどを、外部の他のプログラムから呼び出して利用するための手順やデータ形式などを定めた規約のことです。

#### 5. 株式会社 SBJ DNX との DX 戦略策定・推進に向けたコンサルティング契約の締結

当社はデジタルバンク設立をはじめとした、DX 戦略の策定・推進にあたり、株式会社 SBJ DNX とコンサルティング契約を締結することを決定しました。新韓銀行、株式会社 SBJ 銀行の先進的なデジタル戦略事例を積極的に取り入れ、当社全体の更なる DX に取り組んでまいります。

#### 【株式会社 SBJ DNX の概要】

- (1) 商 号：株式会社 SBJ DNX
- (2) 所 在 地：東京都港区芝5丁目36番7号 三田ベルジュビル7階
- (3) 事 業 内 容：システムの開発、運用および保守
- (4) 代 表 者：代表取締役社長 平岡 秀之  
代 表 者：代表取締役副社長 金 桂煥
- (5) 資 本 金 等：100 百万円
- (6) 設立年月日：2020 年 4 月 1 日
- (7) 主要株主及び持株比率：株式会社 SBJ 銀行 100%

以 上